

ALL LINER® NEWS

ALL LINER® ASSOCIATION

2001.1.30 Vol. 7 (新春号)



小倉城

慶長7(1602)年、細川忠興公が築城した。当時は「唐造り」とよばれ、全国唯一の珍しいものでした。現在の城は昭和34年に再建されたものです。また、小倉城を中心に、城主の小笠原氏の歴史を伝える大屋敷を再現した「小笠原会館」や、北九州市出身の作家松本清張の業績を称えた「松本清張記念館」があり、3つの施設を身近に楽しむことができます。

CONTENTS

年頭所感	2~5ページ
オールライナー“Z”民間開発技術審査証明書交付	6~7
技術情報 ショートライナー工法の実例	8~9
発足!! オールライナー協会青年部	10~11
第6回定時総会開催・役員名簿	12
下水道展及び公開デモ・支部便り	13
オールライナー工法 第2回技術管理者試験開催	14
平成12年度施工研修会開催	14
支部別会員名簿	15
ドイツ視察の感想	16

正月の夢 早く社会の改革を

オールライナー協会 会長
長谷川 清
(管清工業株式会社)

あけましておめでとうございませす。21世紀の幕開けの初年度であります。我々の人生目標も、20世紀から21世紀へと世紀が変わる如く、変化の時代になってきますので、今迄の人生観や生活のしきたりの変化を考えていかねばならないのではと思う次第です。

当協会も発足して約7年となりました。これまでの経緯を生かしながら、今後の協会活動も変革の時代に合わせ、一歩前進を考えねばと思ひます。そうは言っても、そう大きく変わるものではありません。

ところで、今一番世の中で欠如しているのは、倫理、道徳に関するものではないでしょうか。昨今、精神的変調期の17歳男子の起こす殺人事件が多発していますが、これは何を意味しているのかを考えてみたいと思ひます。

日常生活の中で礼節を教え実行することですが、教えることはするが、それを日常生活の中で実践を指導する人が少なすぎると思ひます。例えば、朝起きて朝食の時に「いただきます」「ちそうさま」「いただきます」「いただきます」出掛ける時は「行ってきます」「ただいま」等と挨拶すること、それに親が対応することです。挨拶しなさいと言っておいて「行ってきます」と女関で言っているのに「ただいま」と言っても返事が無いという状態では意味がありません。

このような例が企業の中でもあります。部下が「行ってきます」と言っても上司は返事をせず、なぜせぬかと問うと「忙しかったから」という返答。聞かえていただろうと問うと聞かえていたと言ふ。この現実を皆様はどう考えられますか。そんなことは…と反発の声が聞こえます。これは理屈ではありません。実践させる、実践することから、積み重ねが実行されていく間に、社会全般が明るい活気のものとなりましょう。

唯物である経済はほどほどですが、精神的に心の豊さがあれば社会は自然と風通しの良いものとなります。勿論、知育、徳育、

体育というものが今述べてきたことの基本的なものでありますから、20年、30年とかりますから早く社会の改革がなされていかねば、日本国はアジアでの貧国(精神的、物質的)となりましょう。こんな夢の正月でした。

二十一世紀は 水がキーワード

オールライナー協会 副会長
竹谷昌徳
(豊産管理株式会社)

会員の皆様明けましておめでとうございませす。いよいよ新世紀を迎えて改めて業界の発展、協会のために全力を尽くそうと決意を新たにしているところです。

さて、私事で恐縮ですが、先日、下水道協会の会長でもある青森市長の佐々木さんとテレビで会談する機会がありました。

その時の話に、「20世紀はエネルギーが原因で戦争が起きたが、21世紀は水が原因で国際紛争が起きるであろう」という話がありました。この言葉が意味するように、21

世紀は、「環境の世紀」であり深刻化する環境問題は「地球温暖化」「淡水資源の不足」「砂漠化」「水質汚染」の4点であるといわれています。

我々の協会は、その「水」に關連した仕事であります。自然の恵みである水を人間が利用した後、再び自然に返す。下水道を安価に迅速に更新するのが我々の仕事であります。

従って、大きさにいえば、人類の利益にかなった仕事であり、今後ますます重要性が大きくなる分野であります。

今は、自治体の予算が少ないなど、苦しい状況が続いていますが、必ずや社会の利益に即した仕事は発展するのは明らかだと思います。どうか、誇りと希望を持って一年を頑張ってください。

更に工法の研究開発を

協会理事 東北支部長
石黒 望
(豊興産株式会社)

日本の景気回復が遅れ、マイナス成長の厳しい状況が続いており

ますが、21世紀にはライフラインも進み、とくに下水道関連の更生・工事等が増え、活力のあるまたニーズに的確に答えることのできる工法が、生き残れる時代になると思われます。

昨年、東北支部内での更生工事も若干増えているとはいえず、また全国的に比較すれば少なく、今後の工事の発注に期待しております。また、他工法も安価な施工性の優れている工法を研究・開発すると思われ、競争も激しくなると思いますが、支部会員の方々の協力のもと、確実な施工技術の向上と適切な状況の把握によって、オールライナー工法の知名度が高まり、活躍の場が広がると思ひます。

平成12年9月には、オールライナー協会本部主催の函館デモ施工に参加し、支部会員名簿を配布し、オールライナー工法普及に協力しました。これで北海道での入会員の施工実績ができれば、オールライナー工法も全国各地に広がる工法となり、需要が大きくなると思われませす。

最後に、会員の皆様とともに一層力を合わせて、オールライナー工法を、21世紀の主になる更生工法としたいと思っております。

オールライナー工法を 「トップブランド」に

協会理事 関東支部長
平田悦夫
(伊達建設株式会社)

新年明けましておめでとうございませす。昨年中は、皆様にご支援ご協力を賜り有り難うございました。

関東支部の一年を振り返って見ますと、4月に支部総会が開催され支部長職をお任せつかりました。まず、オールライナー工法の知名度アップということで秦野市公開デモを7月に開催し、10月には営業研修会・施工研修会を開催させて頂きました。

とくに、営業研修会では今までのスタイルと違った形で行いました。なぜかと言うと各地方自治体へ行きますと、管更生工法(オールライナー工法)を理解されていない地方自治

体が多いので、オールライナー工法を認知して頂かないと工法採用されぬ現実がありますので、第一線に立ち営業活動されている会員各社の営業スタッフの皆様にも、まず原点に立ち戻りオールライナー工法を理解してもらおうと、協会本部の中村広報運営委員長に基調講演を、支部役員、協会事務局が講師となり実践を踏まえた研修会を行いました。参加者の皆様からは非常に内容の濃い研修会との声をいただきました。

この場をお借りして、講師を引き受けて頂きました皆様には心から厚くお礼申し上げます。新しい世紀、21世紀がスタートいたしました。

7月には「下水道展01」が東京で行われますので、昨年から青年部の皆様にご協力を頂きながら準備に取り組んでいますので、ご期待ください！

オールライナー工法をみんなで管更生工法の「トップブランド」を合言葉に、技術と品質の向上を常に目指し受注活動に向け頑張ろう。

会員皆様の益々のご健勝と繁栄をお祈り申し上げます。

平成13年1月5日

総合力で頑張り技こう

協会理事・関西支部長
今中健司
(株式会社ケンセイ)

関西支部長を拝命しまして1年少々経ちましたが、期待に添える活動には今だ不十分と深く反省しております。

関西支部はともかく、昨今乱立する各種工法協会群の中にあつて、我がオールライナー協会は、際立つてとはいわれないが、まずは充実した活動が展開されているように思ひます。

しかしながら、その努力ほどに成果(受注)とは必ずしも結びつかない、これはやっかいなことではある。

今、関西圏で起こっている状況は、某大都市を中心とした価格の破壊です。最近の事例でも、その某大都市より発注されたオールライナー工法は、なんと見積価格の約70%でした。「とてもじゃないが、まともにやってられんわ」と怒るのも無理からぬところでしょう。

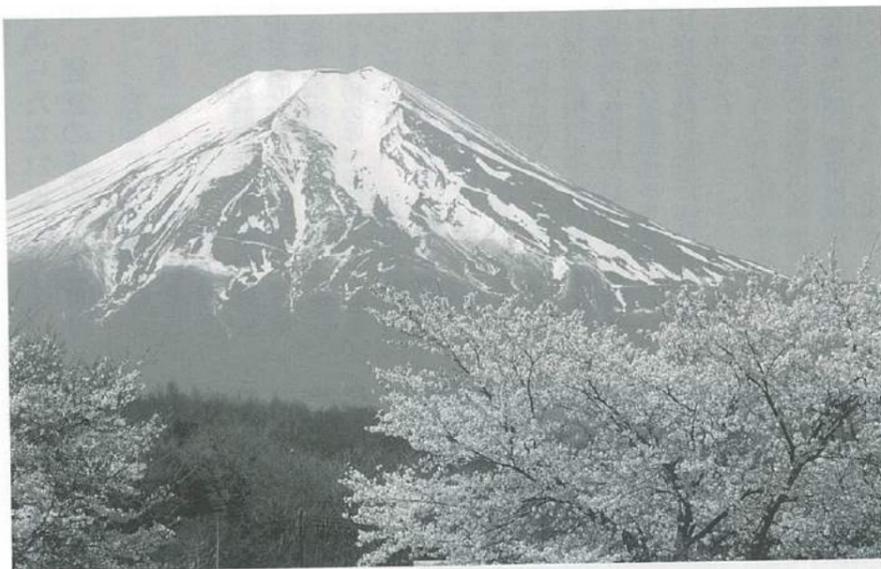
なぜこのような発注になるのか、確かな根拠を掴んでいる訳ではありませんが、少なからず影響を与

えているのは、同業某工法でしょう。某工法の商法なるものが彼らの遠大な営業戦略なのか、思考錯誤なのか、それとも実力なのか、理解しかねるが業界の異端児であることはまちがいない。かといって我々はその異端児を抹殺することも傍観者になることも許されないのであつて、あらゆる創意工夫を重ね、戦国さながらの乱業界を泳ぎ抜く術を見出さねばなりません。

では、この熾烈な競争に打ち勝つためにはどうすればよいのか？結局それは我々施工者は懸命な営業努力と施工の合理化に精一杯の努力をすると同時に、材料供給メーカーにもコストダウンや、施工の合理化につながる材料の開発に努力をしていただき、我が工法協会としての総合力で頑張りしかないと思ひます。

ご承知の通り、年々悪化する企業者の財政事情は、多様な要素から容赦なく我々業界へのコスト削減要請となりつつあります。

そんな中、唯一明るい材料は、仕事量が年々増加傾向にあることです。お互いの企業努力でもって問題の解決にあたり、良質の仕事を提供すれば、やりのある未来も保証されると思っております。



伊達建設株式会社

あらたな21世紀の 経営の感性と決断力

協会理事 広報運営委員長
中村勝巳

(カンツール技術株式会社)
20世紀時代を「長すぎた冬」と振り返り、21世紀を「ついに日本経済の本格再建が始動する年に」するための3つの柱があると考え

- 1 財政再建のスタート
- 2 公共事業改革
- 3 IT革命

一昨年に底入れされた日本の経済は、設備投資と輸出増大を中心に着実に回復しており、今後はこれに個人消費が加わる事によって、民需主導型の軌道に移行するものと予想される。
これからさき金融、年金不安、補正予算の影響などが重なって成長率が加速、後半は減速と、短期的に波があるが、全体としては緩やかな成長が見込まれ、景気の足取りもすっかりしたもものになると思われる。
下水道管路維持管理業界については、建設業法の改正、修繕改築事業の国庫補助事業の標準化による完全実施など、管渠更生工法のマーケットの拡大が大幅に見込まれることが予想される。

これからはユーザーの確保が大切であると考え。どんな商売であれ、ユーザーがリピートしてくれることが成功の秘訣である事は誰でも知っている。
というのは新たなユーザーを獲得するには大変なコストが掛かるが、もしいったんユーザーになったほとんどのユーザーがリピートしてくれれば、あるいはくちこみPRしてくれれば、コストをかけずに売上拡販ができるからである。
ユーザーの認知を得るために、「価格の安さ」を上げる人が多いだろう。「価格の安さ」をリピートによって成約の理由として挙げる人は少数である。逆に「ユーザーサービス」や「オンタイムデリバリー」または「高度な品質管理」など工期厳守、耐久性のある品質などのサービスが顧客獲得の最大のポイントである。無論、多くの場合、価格破壊は新たな顧客をひきつけるという点では圧倒的力を発揮する。しかし、「低価格」という理由だけで顧客をひきつけるとは限らない。低価格にひきつけられていったんは顧客になったとしても、顧客は「低価格」なりの「良いサービス」を求めたのである。「安いからサービスはいたしません」という事では、やがて顧客は逃げていくことである。

まさにこれからの管渠更生業界は「生き残りを賭けた、今ある経済情勢の業界への挑戦」として始動を始め、21世紀の業界の動きをよく見極めて、新しい世紀の出发点にあたり、オールライナー協会の発展と業界のトップリーダーとして、一人ひとりがその位置付けを知る事が責務であると考え。

開発のスピードアップを 活動の重点に

協会常任理事 技術委員長
大塚捷徳
(旭テック株式会社)

皆さん、新年明けましておめでとうござります。
年初に当たり、一般の会員様に對して、技術委員会のこれまでの活動報告と、私の今年の抱負を、述べさせていただきます。
技術委員会の名称は、協会設立当初より存在しましたが、実質は一昨年の秋、協会の技術委員会として(それまでの合同委員会の運用から独立し)一人立ちしました。昨年、一年間技術情報交換の場として、開発テーマ討論の場として、或いは広報運営委員会のバックアップ機能等としても活動を進めて参りました。
技術委員会の運営方法等、暗中

模索気味の所も多々ございましたが、技術委員の皆様並びに、協会員の皆様の温かいご支援のお陰を持ちましてまだまだ不十分ではございますが、なんとか委員会として、機能出来るようになったと考えております。
昨年一年間の、重点成果の内幾つかを以下に紹介させていただきます。(順不同)

I 海外研修旅行の催行

長谷川会長を団長として、第二回海外研修旅行が催行出来ました。

II オールライナーZ工法の 民技評 取得

下水道新技術推進機構に、オールライナーZ工法の評価を申請し予定通り受け付けて頂き厳しい審査の結果、12月20日無事評価書を取得出来ました。薄肉自立管としてのガラス入り更生工法が、今後補助金対応工法として一層評価されるものと期待しています。本評価を、営業活動に大いに活用下さい。

III 開発テーマの選定と モニター制度の発足

オールライナー協会をどんどん発展させていく為には、タイムリーな開発が必要です。開発テーマ

の検討と優先順位づけを技術委員会の重要任務と位置づけ開発スピードを上げるために会員の中から積極的に協力頂ける方を募集しました。
現在、進行中の主なものを以下に記述。
① パートL工法
(本管よりの枝管更生工法)
カナルミチューラー社方式と国内開発方式の両方で本年5月完成目標。
② パート光硬化
工法完成、現在モニター会員による実施工トリアル中、本年5月完成目標。

IV 10工法連絡会へ技術員の派遣

当協会技術委員会より技術委員を工法連絡会に派遣し、現存する更生工法の耐久性、耐震性、対薬品性他の標準化に貢献した。

V 工法マニュアル検討 分科会の設立

本年総会までを目的に、これまでの工法マニュアルの見直しを3分科会にて実施することとした。

VI パテントの討議

他工法で、パテントの抵触を主張しているが、オールライナー協会に保有パテントが、原理パテ

トに近く反対に他工法が、このパテントに抵触している可能性が非常に大きいことを確認した。
VII 大口径オールZの夏場施工
神戸市向けとして、φ800mm、120Mのガラス入ホースの施工を、夏場に行い大きな自信を得ました。
その他、大阪下水道展の成功、公開デモのバックアップ、技術研修会の開催、技術管理者試験の実施などが有ります。

本年の技術委員会の課題としては、協会会員数が10社を超え、この多数の会員の皆様の生の声を如何に吸収し、運営に反映させていくのかだと考えています。
皆様、ご承知の通り、本年より改築工法としての管更生が、多くの地方自治体で補助金対象事業として脚光を浴び、市場が大きく膨らむものと思えます。
この時代の流れにうまく乗る為の技術的バックアップを技術委員会として積極的に推進したく思います。
会員の皆様のご支援、ご指導、宜しくお願い申し上げます。



神戸市向けのオールライナーZ施工風景

老朽化した下水道管渠

オールライナー協会 事務局
羽田野武則
(管清工業株式会社)

国民のナショナル・ミニマムである下水道事業は、下水道整備第八次七カ年計画に沿い弛みなくす

すめられ、平成11年度末で下水道普及率が60%をこえました。
社会の急激な変革の影響は下水道事業にも波及し、全国で頻発するゲリラ的集中豪雨への対処、水質保全の必要性、さらには下水道管渠内光ファイバーを利用した情報ハイウェイの構築などにより、下水道事業の責務は高まる一方です。

下水道の普及と共に管渠の総延長も平成10年度末で約29万kmとなり、下水道の歴史のある大都市を中心に、耐用年数を超過した管渠が増加しています。
下水道管渠は、経年により硫化水素による腐食や劣化等の老朽化が進みます。

老朽化した管渠を放置しておく、閉塞による路上への汚水は溢水や道路陥没等の事故、あるいは下水処理場への不明水の流入量が増加して処理機能に障害が発生する等、住民の生活に直接大きな支障を及ぼすおそれがあります。
下水道本来の機能を保持するためには、日常的な確な維持管理が必要であることは言うに及ばず、施設の改築や補修も計画的に実施することが必要、不可欠となります。

年頭にあたり

オールライナー協会 事務局
橋戸義隆
(旭テック株式会社)

会員の皆様、明けましておめでとうござります。いよいよ21世紀の始まりです。
新しい世紀が、オールライナー協会にとつて、素晴らしい世紀となるよう、力を合わせて頑張りましょう。
さて、小生が、事務局長を拝命いたしました。早いもので半年が経ってしまいました。

まさにアレヨアレヨの半年で、アレもやりたい、コレもやりたいと思つていられるうちに過ぎてしまいました。が、やっと、工法の置かれた立場、協会の役割りが分かってきたような気がします。
前世紀からの宿題を、今年から果していきたいと思っております。

協会の会員数も、間もなく10社を超えて、業界でも有数の協会に成長しました。これも先輩諸氏が、真面目に工法の開発に取り組んだ姿勢が評価されてきた結果だと思えます。
新世紀は環境の世紀と言われています。更生工事も本格化すると



新事務所

6月	工種・内容	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
12日	準備工 排水ポンプ設置(上下流) 管内洗浄(全管) TV撮影(通線) ワイヤー引込み													
13日	管更生工 各車両設置 排水ポンプ配管設置 循環ポンプ設置 循環ホース配管 ウインチ設置 管内洗浄(前日雨の場合) ライナー積替 ライナー(発進側)加工 ライナー移送(上流側) ライナー引込(上流側) 治具取付 配管接続・循環・拡張 加熱工 養生工 冷却工 拡張材引き抜き 管口仮切断 片付	6											16	16
14日	管口仕上工 管口切断・仕上 管内洗浄 管内TV撮影													

図-2 工程表

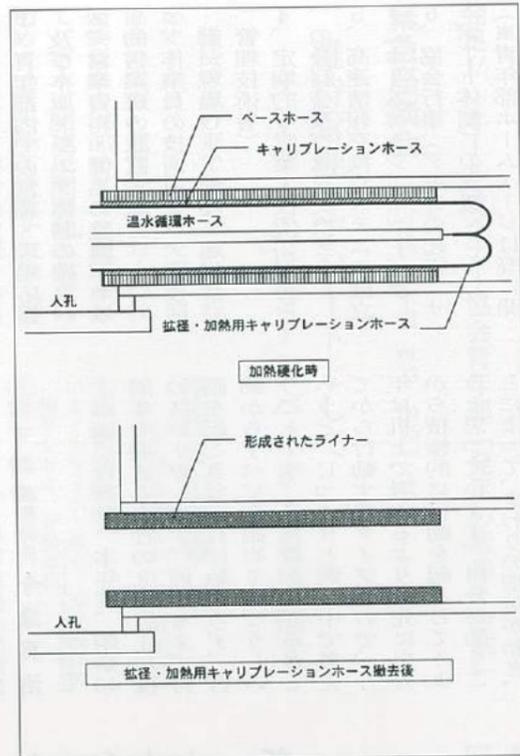


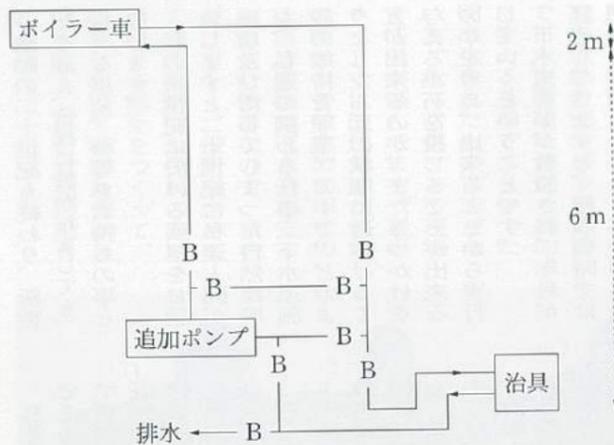
図-1 ショートライナー原理図



写真-1 ライナー末端部分の仕上がり状況



写真-2 ライナー形成工



(Bはバルブ設置位置を示す)

図-3 配管系統

技術情報

ショートライナー工法の実例

旭テック株式会社
オールライナー部 技術部主任 小野田信彦

1 ショートライナーの原理
「ショートライナー工法」といっても、今のところカタログには載っていません。この工法は、スパン間の一部分のみを更生することを目的としており、オールライナー工法を応用して考案されています。

原理を図-1に示します。オールライナーで通常使用する「ライナーホース」の内側にもう一本「拡張・加熱用キャリブレーションホース」を仕込み、この中に温水を導入してライナーホースを硬化させた後に、拡張・加熱用キャリブレーションホースを撤去してライニングを完成させるものです。

2 実例紹介
ショートライナーの施工実績は幾つかありますが、その中で2000年6月に施工された例を取り上げます。

●施工条件
管種…ヒューム管
管径…400

管体延長…90m
系 列…雨水

●施工範囲
下流側より8mのみライニング
●施工日
2000年6月13日～14日
●施工場所
広島市中区河原町平和大通り内

●施工チーム
丸伸企業(株)・(株)環境開発公社JV
ライナー仕様
φ400×6.0mm

施工場所は、広島市の平和記念公園にほど近い、平和通りと舟入通りの交差点で、広島電鉄江波線が施工対象管渠の上を走っています。下流側はポンプ室になっており、その下流から上流に向かって8mのみをライニングする工事です。

人が入ることのできる大きさの管渠であればこのような施工はどのような工法でもできるのですが、φ400では作業者が入るわけにはいきません。
施工方法について何度も打ち合

わせを行い、最終的に「ショートライナー」形式で施工することとしました。

拡張・加熱用キャリブレーションホースとしては、通常のキャリブレーションホースを2層にし、末端をバックアップホースで補強したものを使用しました。この場合、ホース全体は上流側人孔から引き込むこととなります。

工程表を図-2に示します。施工日3日のうちライニング工は後の2日間で行われていますが、実質13日の1日がライニング実施日です。

この施工で特に問題となるのは管内のライナー末端の仕上がりで、端部がめくれたり拡張・加熱用ホースが付着していると通水を阻害する恐れがあります。結果は写真-1のとおりで、このような障害もなく、無事にライニングを完成させることができました。

なお、この施工では、管渠の埋設深が深く、通常の方法では圧力管理ができなかったために補助ポンプを使用し、ビット内で圧力を制御する方法をとりました。配管については図-3を参照してください。この方法で圧力設定ができるかどうかは、あらかじめ試験を実施して確認しています。
今回の施工では幾つか新しい試

みも交え、事前に多くの検討と実験を重ねて本番に臨みました。その甲斐あって大変良い結果を得ることができました。この例を参考に同様のショートライナーの施工も行われています。

ところで、図-1をご覧になって「何かに似ているな」と思われた方もいらっしゃると思います。そうです、取付け管ライニング工法の「サイドライナー工法」と原理が同じなのです。今回の施工では引き込み工法としましたが、同様の構成の材料を反転によって管渠内に導入することも可能です。

この場合は片側の人孔からのみ



治具取付状況

ライナー挿入状況



アクセスで施工できることとなりますので、いろいろな用途に応用可能であると思われます。まだこの方法は実用化していませんが、今後のテーマのひとつといえるでしょう。

最後に、今回の施工にあたりご尽力された丸伸企業(株)・(株)環境開発公社JVの皆さんの労をねぎらいますとともに、詳細なレポートを作成していただいた(株)環境開発公社、田中様にお礼を申し上げます。
☆ショートライナー工法についての詳細は、旭テック(株)、小野田までお問い合わせ下さい。

平成12年度青年部報告

オールライナー協会 青年部
部長 坂田 正祐
(株式会社ケンセイ)

青年部は、今年度2回(7/26、8/31)の設立準備委員会をもって組織・運営体制を確立し、11/30には技術・営業面の分科会を行うなど、皆様のおかげをもちまして、設立に向け第一歩を踏み出すことができました。当部は、「自由な意見交換、発想提案、具体的行動」をモチーフとして設立され、現在30社を超える協会内会員の皆様よりご賛同いただいております。上記の会議を踏まえて、来年度は下記の事業を行う予定です。

- 1、青年部内での営業・現場応援及びネットワーク体制の確立
- 2、営業資料・備品の整備、地域的営業班の設置・運営
- 3、作業員の技術力アップ支援活動(現場OJT制度、勉強会、管理技術者)
- 4、定期的な営業・技術2面からの分科会及び意見交換会
- 5、高速情報交換システムの確立(ホームページ、ネット)※
- 6、協同行事(デモ等の起案、サポート体制)の支援

(※青年部ホームページは既に開設致しましたので、詳細は青年部事務局までお問合せください。)

21世紀スタートの来年は、若い力を結集させて、上記の事業を確実に実行していきたいと思っております。皆様の暖かいご支援とご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。また、青年部の事業内容にご賛同を頂ける当部未入会の会員の皆様、左記青年部事務局まで連絡をください。

青年部事務局トイエイ(株)内
担当：今津真治
Tel 0562-83-3880
e-mails: hanzu@ipc.tokai.or.jp

「原点は行動」

オールライナー協会 青年部
事務局長 今津真治
(トイエイ株式会社)

「原点は行動」本年度、創業40周年を迎える当社の2001年度のスローガンです。何事もまず行動を起こさなければ始まり、行動からすべてを始めていこうということと、じっくりと頭の中で考えてから行動するタイプなので、今年からは机上で考えるよりも先に自分から積極的に行動を起こしてみようと思っております。自分が動くことによって、まわりの空気が動き、

新世紀

オールライナー協会 青年部
営業担当リーダー 小泉和也
(株式会社ヨコトク)

二〇〇一年
明けましておめでとうございます。

今まで見えなかったものが見えてくるのではないかと思います。誰もがそうだと思いますが、私は自分の仕事に誇りを持ち、誰にも負けたくないという気持ちを強く持っています。しかし今までは、その気持ちが空回りして、失敗を恐れるあまりに深く考えすぎてしまつて、思い切つた行動ができなかつたように思います。時代は、規制緩和等により大きく変化しています。正確でかつ迅速な判断と行動が必要とされていると思います。自分から動き出さなければ、時代に取り残されてしまいます。スローガンとともに、社長から手渡された本の中に、松下幸之助氏の言葉がありました。「失敗を恐れないことを恐れない」

激動の二十世紀も終わり、新世紀を迎え、皆様にかかれまして、様々な展望、夢をお持ちの事と思います。

私の新世紀に於ける展望をお話致しますと二十世紀に私達人間が破壊及び汚してしまつた自然環境を、私達の携わる仕事(下水道施設の維持管理)の中で、どのようにしたら元の状態に近づけることができるのか、またきつかけを与える小石を投じることが出来るのかを考え、出来ることから実行していくということです。

下水道管渠が敷設され、年月が経過してきますと、建設当時は想像も出来なかつた不具合等が発生し、その不具合が原因になり、様々な障害が発生してまいります。

今までは、維持管理の仕事でエンドユーザーにご提案する時、その維持管理の仕事のハード的な部分のみをお話していましたが、先日更生工事(オールライナー工法)のご提案を行う時、ハード的な部分の説明を行うと共に、ソフト的(環境問題等)な部分の説明も併せて行い共感を頂きました。

具体的に申し上げますと、今までそのエンドユーザーは反転工法で更生工事を行っていましたが、既設管のクラック及び破損等から管渠外に出てしまった、硬化性樹脂の環境に対する安全性について疑問をもたれていました。そこで形成工法(オールライナー工法の仕組みを説明したら、外側にフィルムがある為、硬化性樹脂が管渠外に流出する恐れがなく、環境に優しい工法と評価されました。

今後もハード面+ソフト面の両面を説明し維持管理の必要性及び私達で出来る環境保全について提案していきたいと思っております。



H12.7.26 第1回青年部設立準備委員会風景

発足!! オールライナー協会青年部「発足の意義と役割」

緊急座談会 「月刊下水道 vol.23 No.15」より

維持管理のデパートとして ユーザーの良きアドバイザーを目指す

維持管理分野で発展を続ける我がオールライナー協会は先頃、同協会の広報・運営委員会および技術委員会の下部サポート組織として、下水道関連民間団体として初めて「青年部」を設立した。「青年部」設立は、次世代を担う会員の技術向上および営業促進、国内および国際的視野の下での技術交流、人格見識を高め、会員相互の啓発と親睦・交流を図り、地域社会の環境整備に寄与することを目的としたものである。いわば、これからの下水道事業を支える新しいエネルギーである。このエネルギーが今後、どのような活動を行い、下水道界をどのような方向に導いていくのか、期待は高まる。その発足の意義と役割について「月刊下水道」誌上で緊急座談会が行われた。熱いエネルギーが伝わる座談会となった。

座談会出席者

(写真正面左から・敬称略)

- ①坂田正祐 オールライナー協会 青年部部長 関ケンセイ 営業部長
- ②宮下慎也 オールライナー協会 青年部副部長 阿サカP&C 環境事業部長 今津真治 オールライナー協会 青年部事務局長 トイエイ(株) 常務取締役
- ③石山淳一 オールライナー協会 青年部監事 富士建興業(株) 総務部長
- ④小泉和也 オールライナー協会 青年部 営業担当リーダー 柳ヨコトク 営業部長
- ⑥佐田尾康二 オールライナー協会 青年部 技術担当リーダー ヒューム推進工事(株) 管路事業部長 小野田信彦 オールライナー協会 青年部 旭テック(株) 環境装置事業部 部長 オールライナー協会 技術部主任 越智 茂 オールライナー協会 青年部 管渠工業(株)東京本部 公共事業部営業課課長

座談会要旨

■青年部発足のきつかけ

—もつと勉強をしたい—

■ITを利用して全国の情報の共有化を図る

■維持管理全体の発展が我々の使命!?

■現場の人たちに制限を設けず、どんどん参加してもらおう

■今後のテーマ

—ニーズへのいち早い対応—

■ユーザーに積極的にアドバイスできるレベルに

「月刊下水道」より

vol.23 No.15 (P.24)

オールライナー工法をもつと勉強したい。また他工法も勉強して自分自身を高めたかと思つたことが、発足のきつかけで、工法の問題点や困つたことを共有化し、両委員会の支援を戴きスピードアップし解決していく。部員の内には維持管理について、営業の第一線の方や現場のスペシャリストの方もいらっしゃる。自分の持つ持っているものを他の人にも分け与え、個々の会社が工法を作り上げていくようにしていきたい。近い将来、ユーザーに積極的にアドバイスできるレベルにして同じ技術で施工が

出来るどころ迄もつていきたい。管の更生はある意味で未成熟の部分が多い分野で日本全国でこれが一般的に使える基準ですといった明文化されたものは未だない為、我々営業マンや現場責任者が悩んでいます。現場サイドでは住民対応が悩みの種のようなので、この仕事は皆様の下水道を守るといった仕事なので、業者だけでなく、役所を含めて工事の有効性を住民の方にPRする機会をつくつて、今後はやっていった方が良くいと思う...など意見が出されました。



第6回定時総会開催

日時 平成12年6月8日(火)
14:30~16:30

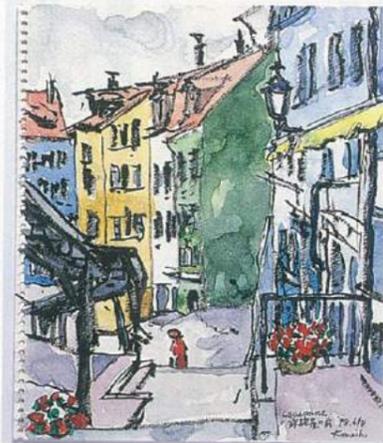
場所 北九州市小倉北区馬借
東京第一ホテル小倉

総会議案

- 第一号…平成11年度事業報告
- 第二号…平成11年度収支決算及び監査報告
- 第三号…平成12年度事業計画(案)
- 第四号…平成12年度収支予算(案)
- 第五号…会則の一部訂正
- 第六号…役員改選

以上

◆設立以来三期にわたり会長を務められた、平井顯一氏が名誉顧問となり、副会長の長谷川清氏が会長にられました。総会後は同会場で懇親会が行われました。



平井前会長より記念に絵をいただきましたので、ここに掲載させていただきます。



挨拶をされる 平井前会長



第6回総会(出席者94名)

役員名簿

任期:平成12年6月から平成14年6月

名譽顧問	名譽顧問	会計監事	会計監事	常任理事	常任理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	副会長	副会長	会長	協会役職	社員及び住所・連絡先	氏名
平井工業株式会社 静岡県静岡市横内町9 TEL 0541-249621 FAX 0541-249441	松枝勝昭	三喜技研工業株式会社 東京都武蔵村山市榎2-84-1 TEL 042-666021 FAX 042-6660217	池田皓介	旭テック株式会社 静岡県小笠郡菊川町堀之内547-1 TEL 0537-363117 FAX 0537-355333	大塚捷徳	菅清工業株式会社 東京都世田谷区上用賀1-7-3 TEL 03-37091511 FAX 03-37094338	鈴木敦雄	旭テック株式会社 静岡県小笠郡菊川町堀之内547-1 TEL 0537-363117 FAX 0537-355333	大塚捷徳	菅清工業株式会社 東京都世田谷区上用賀1-7-3 TEL 03-37091511 FAX 03-37094338	中村勝巳	永野刀男	小林友則	今中健司	松本浩治	平田悦夫	石黒望	長谷川清	菅清工業株式会社 東京都世田谷区上用賀1-7-3 TEL 03-37091511 FAX 03-37094338	長谷川清

'00大阪下水道展

7月25~29日

開催結果報告

来場者 自治体 87名
一般 691名
コンサル 135名
団体 33名
海外 30名
協会員 122名
合計 1,098名
前年東京展 1,162名
やはり自治体関係が60名位少なかった。



大阪下水道展 ブースの様子

'00公開デモ開催及び展示会

- 第1回** 津市 4月25日
メッセウイング・みえ
参加者25名(模擬施工)
- 第2回** 鹿児島市 5月25日
天保山町 参加者70名(実施工)
- 第3回** 泰野市 7月25日
浄化センター内
参加者120名(模擬施工)
- 第4回** 松江市 8月29日
嫁島町地内
参加者70名(実施工)
- 第5回** 函館市 9月29日
南部下水終末処理場内
参加者50名(模擬施工)
- 第6回** 四條畷市 10月23日
清滝新町地内
参加者50名(実施工)
- 第7回** 名古屋建設フェア展示会
10月19日~20日
ポルトメッセなごや
名古屋国際展示場第一展示館
来場者約100名
アクセスがよくないと、あいにくの雨天で来場者は低調でした。

「支部便り」

中部支部 副支部長 大武 鴻 介

支部制施行二年目を迎え、我が支部もやっと軌道に乗ってきたところです。本年の主だった行事を報告します。

- 一、四月十九日(水) 支部総会 於名古屋
- 一、四月二十五日(火) 公開デモ 於津市
- 一、七月十九日(水) 支部役員会 於名古屋

- 一、九月二十七日(水) 支部役員会 於名古屋
- 一、十一月十六日(水) 支部役員会 於名古屋
- 一、十月十九日~二十日 「建設技術フェア2000 in 中部」出展 於ポルトメッセなごや

一、十一月三十日~十二月一日 広報 技術各委員会の名古屋開催 市内千種区「ホテル・ルブラ 王山」
特に津市の「公開デモ」と「建設技術フェア」には多数の支部会員が積極的に協力頂き、仕事を通じて仲間意識が高まったと思えます。
当支部の活動方針の一つとして、いたずらに会員を増やすことではなく、仕事量に比例した適正な増加を目標にすることであり、またもう一つの柱として現在会員の無い空白県を、つぶしていくことに目標を置いて支部長以下全役員で活動しております。



津市での公開デモ風景

ドイツ視察の感想

オールライナー協会 青年部副部長 宮下慎也

(株アサカP&C)

ドイツの視察は今回で2回目と
いうことで、下水道維持管理機
具などのように技術革新している
など興味津々で訪問したが、そ
れほど前回と変わってはいなかつた
ようだ。ただし、リサイクル展(エ
ントソルガ)もそうだが、ドイツ
人の環境への思い入れは、これら
の機具を通してひしひしと伝わっ
てきた。それは、どの国に生まれ
た人でもドイツを一度訪れると美
しいと思う「文化遺産」(城、聖堂、

赤レンガの家々...)と緑のハーモ
ニー)を後世に守り継ごうとする
ドイツ人の「意志」の表れに他な
らないと思つた。

それと、今回の視察企画の中で、
現場を視察できたことが何より良
かった(調査、補修中のところを
見学させてもらつた)。日本と違
うなと思つたところは、一般住民の
工事に対する理解度(寛容度?)
のように思えた。例えば、現場に
汚水管の仮設管があつたが、路地

端に剥き出しであり、管接続のボ
ルトの数も全部そろつておらず、
また各家庭の入口のところは、地
下を通さず、車が通れるように上
方に曲げて配管されているのには
度肝を抜かれた。日本では絶対考
えられない仮設方法に感服し、逆
にこんな方法があつたんだなあ、
と新鮮な気分になつたりもした。
中世のベスト流行以来、下水道に
対する重要性がドイツ国民に染み
付いているからでは、と私は一方
的に推測した。

次回また企画があれば、今度は
ぜひKM社の現場作業員との懇談
会をもつていただき、意見交換が
できれば面白い、と思つている。



旅程表

日数 Day	月日(曜) Date	都市名 City	概要 Remarks
1	6月24日 (土)	成田 発着 ヨーロッパ内都市 ヨーロッパ内都市 ヨーロッパ内都市	
2	6月25日 (日)	ハンブルグ 滞在	The Hamburg Pipeline Construction Show
3	6月26日 (月)	ハンブルグ 発着 ケルン 到着	The Hamburg Pipeline Construction Show
4	6月27日 (火)	ケルン 滞在	国際リサイクリング・廃棄物処理専門見本市
5	6月28日 (水)	ケルン 滞在 シュワレンベルグ パッドビルモン	カナルミラー本社訪問
6	6月29日 (木)	パッドビルモン チューリッヒ バハチューリッヒ	チューリッヒ水道・下水道局訪問
7	6月30日 (金)	チューリッヒ ヒンシュタイ リヒューリッヒ	カイザー社訪問および 施工現場視察
8	7月1日 (土)	チューリッヒ 発着 ヨーロッパ内都市 ヨーロッパ内都市	
9	7月2日 (日)	成田 着	

7日間のグループは1~5まで
9日間のグループは1~9まで

メンバー表

平成12年6月14日現在

氏名	会社名
長谷川 清	管清工業(株)
西田 拓	管清工業(株) 鉄道事業部
成田 龍樹	管清工業(株) 排水作業課
松田 忠康	管清工業(株) 東京本部
秋田 悟	管清工業(株) 大阪支店
加藤 秀人	管清工業(株) 大阪支店
久保 万太郎	管清工業(株) 大阪支店
永松 武彦	管清工業(株) 大阪支店
中村 勝己	カンツール技研(株)
松本 浩治	東海下水道整備(株)
高杉 憲由	三喜技研工業(株)
小幡 一夫	三喜技研工業(株)
宮下 慎也	(株)アサカピーアンドシー
田端 浩之	トーエイ(株)
阿部 弘市	豊産管理(株)
清水 登	(株)ヨコトク
中村 隆一	(株)カンツール
大塚 捷徳	旭テック(株)
三谷 久夫	旭テック(株)

